



ボノ株式会社

- 会社案内 -

✕ 企業ミッション



百年後も愛される、面白き価値をつくる

私たちのミッションは、いまを面白く、より良い未来をつくるため、「人と地域をつなぐ新しい仕組み」をデザインすること。

現代の日本は様々な要因による歪が生まれ、これまで常識と信じられてきた社会の仕組みや地域との繋がり方に限界がきています。

私たちは、プライドや無意識の中で立てられた組織・世代間の壁を取り払い、多種多様な地域や組織、子供から若者・中年・お年寄りが一つの家族のようにちゃぶ台に集まり、誰もが自分ごとのように考え行動したくなる仕組みをデザインすることで、数年で消え去る流行ではなく、百年後の子供たちからも愛される、いま必要な面白き価値をつくります。

- ◆ 商号 ボノ株式会社
- ◆ 設立 2008年7月10日
- ◆ 本社 〒112-0014 東京都文京区関口1-29-6,1F
Tel：03-6228-0051 / Fax 020-4623-8691
- ◆ 代表 代表取締役 横山 貴敏
- ◆ 資本金 5,000,000円
- ◆ 取引銀行 みずほ銀行 / 芝信用金庫
- ◆ 取引実績 株式会社日立製作所 / ソニー・コミュニケーション・ネットワーク株式会社
株式会社NTTドコモ / 株式会社クレディセゾン / 凸版印刷株式会社
キリン株式会社 / グリコ乳業株式会社 / 森永製菓株式会社 / 株式会社VSN
有限責任監査法人トーマツ / 国家公務員共済組合連合会・共済病院
京都三大学教養教育研究・推進機構 / 他、地方自治体・公共団体など

- ◆ 事業内容 新商品・新規事業開発支援
ソーシャルデザイン、コミュニケーションデザイン
システム開発全般
デザイン制作全般（企業ブランディング含む）
イベント企画（コミュニティスペース、ワークショップ）
人材紹介・採用支援・SES … など

20代半ばからクリエイターとして活動し、そのアウトプットは多岐に渡ります。仕事としては、新規事業の立ち上げに必要なシステムやツールなどの企画開発、CI・VIなどの企業ブランディングに関わるデザイン制作、また行政や企業とともに社会問題を解決するための仕組みづくり（ソーシャルデザイン）などに取り組んでいます。

人と人がつながる時、その間に必ず「なにか」が存在し、その「なにか」を工夫したりデザインすることによって、コミュニティやブランドが形成されます。あるときはおいしい食事を生み出すキッチンのある空間を作り、あるときは心を和ませるキャラクター作品やゲームなどのプロダクトを作り、あるときは幸せな子育てや健康をサポートできるシステムや人材をつくり、あるときは企業の新事業・商品開発の支援をしながら、今を生きるクリエイターとして、持続可能な未来社会に必要なデザインを日々追求しています。

おもな活動、作品など：



横山 貴敏 Yokoyama Takatoshi
ボノ株式会社 代表取締役
我楽田工房 代表
東京山の上大学 共同代表

1998年：メディアアートを制作するグループ「スタジオぼの」設立
1999年：コミュニケーションツール『LogHouse (Terranet社)』企画・開発
2001年：コミュニケーションツール『SHEEPDOG (So-net社)』企画・開発、※日経クリック優秀作品賞受賞
2008年：『ボノ株式会社』設立/北九州市・電子申請実験事業『子育てポータル』企画・開発
2010年：中核病院のサインボードのプロデュース、医師・看護師向けのeラーニングの仕組みを構築
2011年：製薬メーカーの企業ブランディング、CI・VIに関わるデザイン制作
2014年：若者と地域をつなぐシェアキッチン&イベントスペース『我楽田工房』オープン
2015年：若者と地域資源を発見する『まち冒険プロジェクト』立ち上げ、北海道から九州まで、全国15箇所以上の自治体で実施
2016年：地域の中で活動する看護師を育成する『コミュニティナースPJ』立ち上げ、京都府と奈良県などで事業開始
2018年：東京都認定、地域密着型シェアオフィス『我楽田長屋』オープン
2019年：はじめてたい人のはじまりを応援する市民大学「東京山の上大学」立ち上げ、プロデュース
2021年：人と地球にやさしいドライフード事業「わくわく工房プロジェクト」の立ち上げ

× 主な事業



ボノ株式会社は「百年後も愛される面白き価値をつくる」会社として、新規事業の立ち上げに必要なシステムやツールなどの開発、CI・VIなどの企業ブランディングにかかわるデザイン制作、また行政や企業とともに社会問題を解決するための仕組みづくり（ソーシャルデザイン）などに取り組んでいます。

新規事業支援

- ▶ 新商品・新サービス開発
- ▶ 調査・研究
- ▶ ソーシャルデザイン
- ▶ 人材育成・紹介



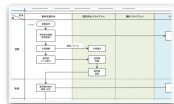
デザイン制作

- ▶ 企業ブランディング（CI、VI、ロゴ作成）
- ▶ 商品パッケージなどのプロダクトデザイン
- ▶ キャラクターなどの企画・作成
- ▶ ホームページ、パンフレットなどの制作



システム開発

- ▶ Webサービス、メディアの企画・開発
- ▶ 運用システムの企画・開発
- ▶ iPhone、Androidアプリの開発



イベント企画運営

- ▶ ワークショップ、フィールドワーク
- ▶ 市民フォーラムなどの地域イベント
- ▶ 食をテーマとした料理イベント



× 新たな取り組み



2014年7月から人と地域を繋ぐ「まちづくり」を目指したプロジェクトを立ち上げ、これまで全国各地の魅力的な人と材料が集まる交流拠点をつくって運営したり、東京・山の上エリアに市民大学をつくったり、様々な企業や自治体、専門家などと連携しながら課題解決や新しい価値作りにつながるプロジェクトを立ち上げています。

地域交流スペース「我楽田工房」

- ▶ シェアキッチンを中心としたイベント
- ▶ 住民交流や都市農村交流の場として展開
- ▶ フォトスタジオ、キッチンスタジオなど撮影利用



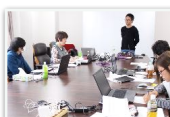
地域密着型シェアオフィス「我楽田長屋」

- ▶ 起業支援
- ▶ 子育て世帯の支援
- ▶ 地元商店や企業と連携したプロジェクトの立ち上げ



地域支援事業

- ▶ 地域資源の発掘と発信
- ▶ 目標設定、計画作成などの移住者支援
- ▶ 地域における関係人口を増やす交流事業



スタートアップ支援事業

- ▶ コンセプト商品・サービスの開発支援
- ▶ 仲間となるファンづくり支援
- ▶ 販路開拓&営業支援



✕ 主な沿革 創世記



1998年 メディアアートを制作するグループ
『スタジオ・ぼの』設立



© Terranet

1999年 Web上で三次元空間の部屋を作るコミュニケーションソフト
『LogHouse』を発売 (TerranetProduct社)
日経新聞や雑誌などで話題のソフトとして取り上げられる。

2001年 ソニー・コミュニケーションネットワーク社から
インターネットコミュニケーションソフト『SHEEPDOG』発売
日経クリック優秀作品賞を受賞する。



© So-net

2007年 以降、代表がシステム会社の役員に就任しながら、
独自にWebメディアや各種デザインなどの
企画、制作を手がける。



データ共有システム
『曲板』企画開発



住基ネット推進事業
公的個人認証サービス都道府県協議会・公認キャラクター



映像作品『ゴルキー』

✕ 主な沿革① 設立



2008年 2008年7月、ボノ株式会社として法人化。

設立と同時に、日立製作所からの依頼で
北九州市・電子申請実験事業『子育てポータルサイト』の
企画・開発・運営を行う。



© moonshoot

2009年 米国moonshoot社から
幼児向け英語eラーニングシステムのコンサル契約受注。
企画支援や教材制作などを行う。



© moonshoot

2010年 国家公務員共済組合連合会「横須賀共済病院」や
「横浜南共済病院」の広報支援を開始。
ホームページ制作・運営のほか、看護師採用支援、
医師向けのeラーニングシステムやiPadの導入支援を行う。



© KKR

✕ 主な沿革② 3-4期頃



2011年 阪神高速グループ企業の依頼で、
ETCを活用したソリューション事業の企画、広報支援を行う。
事業企画、広報サイト、パンフレット、アンケートシステムなどを制作。



© 阪神高速道路

9月～ 製薬メーカー「セオリア ファーマ」の創業にあたり、CI・VIの依頼を受ける。
会社案内やコーポレートサイト、リーフレット、製品パッケージのデザインを行う。

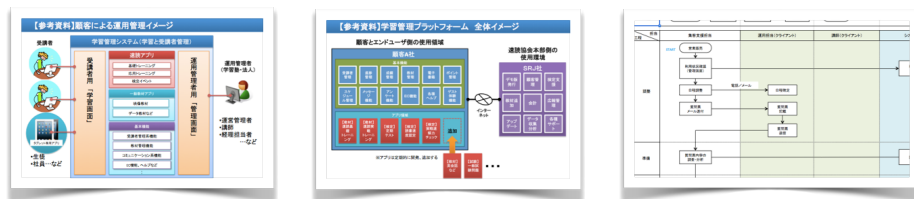


© セオリア ファーマ

✕ 主な沿革③ 5-6期頃



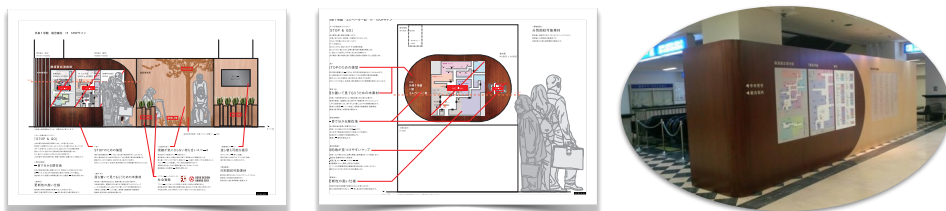
2012年 大手学習塾「ウィザス」グループの依頼で、
大規模なeラーニングシステム構築のための事業コンサルを受注。
既存事業の調査や事業企画、システム開発依頼書（RFP）の作成などを行う。



4月～ グリコ乳業、森永製菓、キリンビバレッジの採用支援や、クレディセゾン「マネースクール」
の広報支援を受注。サイトやパンフレットの制作を行う。



9月～ 国家公務員共済組合連合会「横須賀共済病院」から病院全体のサインボードの改善の
依頼を受ける。院内マップや正面玄関の大型サインボードなどを企画・制作・施工する。

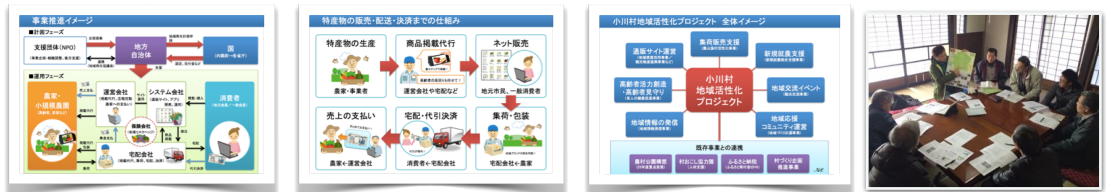


© KKR

✕ 主な沿革④ 新しい領域への挑戦



2013年 新たな取組として**地域支援事業**を立ち上げる。
長野県・小川村で有識者を古民家に集めた**勉強会**や
高齢者と交流する**グリーンツーリズムイベント**を開催。



2014年 年間280万人が訪れる京都府・宮津市と定住支援の分野で**業務提携**を行う。
大学生を対象とした「**まちづくりワークショップ**」を開催。



5月～ 大手システム開発企業からの依頼で「**新事業創出のためのワークショップ**」を開催。
社員参加型の全5回のプログラムを実施。



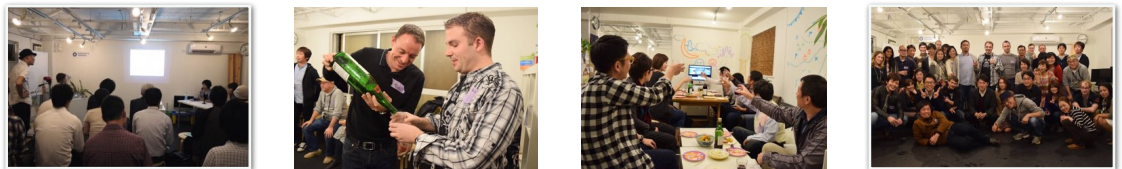
✕ 主な沿革⑤ コミュニティスペース『我楽田工房』オープン



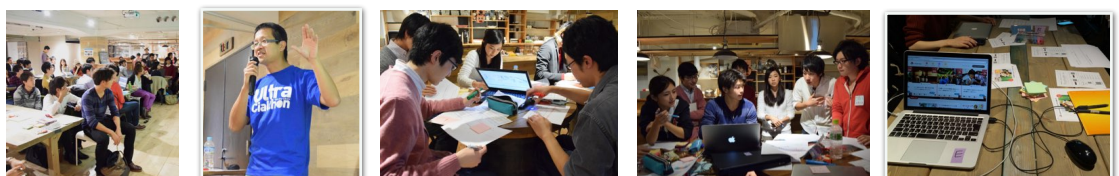
2014年 倉庫を借りてDIY。地域を繋ぐ拠点「**我楽田工房**」を東京文京区にオープン。



8月～ トヨタ財団の国内助成金説明会や、長野県・塩尻市とSkypeで繋げて乾杯する**ワイン会**、
訪日外国人との交流会、**農家**と一緒に食べる**食事会**など、様々な地域イベントを開催。



11月～ NTTドコモからの依頼で、開発中のシステムを活用した**ワークショップ**を開催。
大学生による「**人が集まるイベントを考える**」プログラムを実施。



✕ 主な沿革⑥ まち冒険プロジェクト



2015年 地域から始まるモノ・コトづくり

都会の「若者」（大学生）と地域の人をつなげて新しいプロジェクトを生み出す「まち冒険」。地域で仕事づくりにチャレンジしている人をワンクリックで応援できるWebサービスとしても認知を広げている。

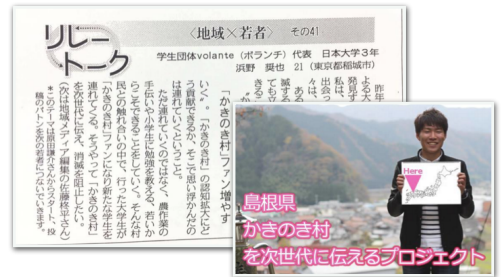


実施地域

京都府（綾部市、南丹市、宮津市）
島根県（松江市、吉賀町）
長野県（伊那市、塩尻市）
鳥取県（岩美町）
群馬県（桐生市）
北海道（日高町）
茨城県（行方市、潮来市） …他、長崎など

学生による『地域交流プロジェクト』

一度地域を訪れた大学生が、定期的に地域に通い人の流れとお金の流れを生み出す活動を展開。



✕ 主な沿革⑦ コミュニティナース育成プロジェクト



2016年 コミュニティナースの育成を東京で開始

看護師としての専門性と技術を持ち、地位の中で日常的(中長期的)に住民と関わることで健康的なまちづくりに貢献する新しい医療人材コミュニティナースを育成する事業を立ち上げ。育成講座、地域フィールドワーク、市民フォーラムなどを実施。

京都府綾部市と提携し地域の健康づくりを開始

病院ではなく、地域の中で人と人、人と地域をつなぐ医療人材の育成を東京で実施。綾部市が看護師の受け入れを行う、地域の健康づくりを目指すプロジェクトを開始。

講師の矢田明子がウーマン・オブ・ザ・イヤーを受賞

超高齢化社会の希望賞
過疎化が進む地方で「コミュニティナース」という未来の日本に必要な仕事を創出。
現在は矢田明子を中心に全国へと展開中。



✕ 主な沿革⑧ 地域支援事業の展開



2017年 地域おこし協力隊向け研修・フィールドワーク

地域おこし協力隊の地域住民への取材研修を通じて、キーマンとなる人物との関係づくりを支援、目標設定や活動計画の策定をサポート。今までに茨城県潮来市・長野県筑北村や県単位での合同研修（茨城県・長野県）を実施。



地域おこし協力隊応募者インターンプログラム

千葉県館山市と協働で実施。地域おこし協力隊応募者が地域の事業者へ取材をすることで、地域の課題やニーズ、実状を正しく理解し、自らのスキル・経験・嗜好などの強みを活かしてスムーズに活動開始ができるようにすることを目的とした選考プログラム。



地域のキーマンをデータベース化

長野県上伊那地域の8市町村の地域おこし協力隊がそれぞれの市町村で活躍する地域住民の取材記事を作成。上伊那地域50人のキーマンをデータベース化、市民フォーラムを開催。



✕ 主な沿革⑨ 自治体や大学と連携した事業



2017年 文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

京都三大学の学生17名が京都府内の中山間地域である和束町を訪れ、フィールドワークを実施。地域課題を実際に共同で体感することを通して、以後の学生生活や研究課題への取組に役立てることを目的とした宿泊研修。



地域資源調査事業

地域資源を自治体の移住・企業、起業家誘致の方策へと繋げて、発掘・調査した情報をデータベース化することで、様々な場面において必要なリソースを引き出せる形にすることを目的とした調査事業を千葉県いすみ市で実施。



移住者継業支援事業

都会の大学生10人が和歌山県田辺市龍神村を訪問。後継者に悩む事業主に取材をすることで、継業に対する考え方を聞き出し取材記事を作成。地域側が今後の課題や方向性を考える機会を創出することを目的とした調査事業。



✕ 主な沿革⑩ 地域交流スペース『我楽田長屋』立ち上げ



2018年 再び倉庫を借りてDIY。文京区を繋ぐ拠点「我楽田長屋」をオープン。



文京区の早稲田、江戸川橋エリアをアートで盛り上げる施策、weアートマルシェを開催。32店舗が出店、参加者・来場者数5,000人。



「我楽田工房ギャラリー」でTOKYOイチオシ応援事業に採択された「くみぐま」の展示を開始。



✕ 主な沿革⑪ 地域人材研修プログラム&市民大学の立ち上げ



2019年 社会課題に挑戦する人材研修プログラム開始

1月～

企業向けの人材研修事業を開始。全国の地域を学び場に、企業から選ばれた社員が自社のナレッジを活用して、自治体や市民、地元企業などと連携しながら社会課題の解決へ挑戦することで、これからの時代に求められる挑戦と創造を担う次世代のリーダー（経営人材）の能力を育成します。



8月～ 市民大学「東京山の上大学」立ち上げ

市民が自主的・自発的に運営する市民大学をプロデュース。東京・山の手線の上半分のまちをシリコンバレーのような「はじまりの街」にすることをビジョンに掲げ、周辺の商店や地元企業を巻き込みながら、何かに挑戦したい人の支援や、はじめられる環境の開拓を行っています。伊勢市の商店街連合会が運営する市民大学「伊勢やまだ大学」と姉妹校提携を締結。



2020年
3月～

コロナ禍への対応。オンライン事業へ

コロナ禍でも地域交流ができるように、オンライン上で地元商店同士や、東京と地方を結ぶ地域交流イベントを展開。コロナ禍が始まった直後の2ヶ月間で50件以上のオンライン交流イベントやワークショップ、ライブ配信を実施。



9月～

林野庁・令和二年度多様な担い手育成事業

全国の女性林業者が集まり、様々な企業や専門家と連携しながら森女たちの知恵と経験を生かした新たな商品やサービスの開発などを学ぶオンラインプログラムを実施。

林業などに従事する女性の社会的な存在価値の向上と林業界における多様な担い手を育成することを旨とする取り組みについてプロデュースを行う。

